

町会活動PR業務に係るプロポーザル審査結果について

令和3年7月1日に開催した審査委員会において、審査基準に基づき審査を行った結果、評価合計点の最も高い次の者を最適提案者として選定しました。

企画提案者 株式会社アウルビジョン，有限会社ビデオ・ザ・キッド，
〔50音順〕 株式会社プリントハウス

最適提案者 函館市杉並町6番13号
有限会社ビデオ・ザ・キッド
取締役 藤田 道子

評価点

審査項目 および 評価基準	配点 (300)	最適提案者	2位	3位
1 ツール内容について（動画・紙媒体）				
(1) 市民にとってわかりやすいコンセプトや閲覧者の興味を引く印象に残るようなキャッチフレーズによる内容となっているか	60	56.0		
(2) メインターゲットを的確にとらえ、趣旨や取組の必要性が伝わる内容となっているか	30	26.0		
(3) 社会教育用の教材として活用するほか、公共機関のホール等での放映にも活用できるよう工夫がされているか(動画)	30	26.0		
小 計	120	108.0		
2 PR内容について				
(1) 動画共有サイト等へのアクセス数を増加させるため、SNSやフリーペーパーを活用した効果的なPR手法がとられているか	60	52.0		
(2) 効果的なPR手法について独創的なアイデアを有しているか	30	26.0		
小 計	90	78.0		
3 実績, 実現性や能力について				
(1) 当該業務の円滑な実施が期待できる類似業務の実績およびノウハウを有しているか	30	26.0		
(2) 委託業務を遂行するにあたり、必要な人員や人材の配置により業務体制が構築されており、また、作業工程、作業内容が明確で、無理のない業務スケジュールとなっているか	30	28.0		
(3) 最低提案金額/提案金額×10点	30	28.32		
小 計	90	82.32		
合 計	300	268.32	266.00	248.78

審査委員会委員 菊池 幸恵（函館工業高等専門学校准教授）
丸藤 競（函館市地域交流まちづくりセンター長）
中村 馨（函館市町会連合会事務局長）